

2901

勝つて緊張（日本）
負けて樂觀（アメリカ）

昭和十七年八月十九日



勝て境の緒をしめ
過ぎて
緒の切れまい様
御用心

負けても景気は
上々吉だと
呑気ふやんきー
御用心



2902

東條寺の英機大僧正諸国行脚

昭和十七年八月三十一日



2903

米の日本襲撃計画

昭和十七年九月二日



地方	人口(百分率)	食糧(百分率)	食物過不足
ウクライナ	18.0	19.0	過
中部(モスクワ、イワノフ地方)	15.0	8.0	不足
中央アジア及カザク	10.0	5.5	不足
カスピ沿岸地方	8.0	14.0	過
中央黒土地方	7.0	10.0	過
ウラル地方	7.0	12.0	過
北部、レニングラード附近	7.0	2.0	不足
北コーカサス、クリミア地方	6.0	9.5	過
西部シベリア	5.0	11.0	過
南コーカサス	4.0	3.7	不足
歐露北部	2.0	0.8	不足
東アジア	1.3	0.3	不足

2904

昭和十七年九月二日
 聯の人口と食糧
 (一九三七年の調査)



2905

滿洲國合

(昭和十五年十月二日調査)
總人口四三二二九八〇

昭和十七年九月三日



① 新京特別市

人口

5 5 5 0 0 9

奉天省

7 5 6 5 5 9 9

吉林省

5 6 0 8 9 2 2

熱河省

4 5 5 3 2 2 8

錦州省

4 3 1 7 8 2 2

濱江省

4 2 3 4 2 0 6

四平省

3 0 0 5 0 7 0

北安省

2 3 1 8 9 5 7

安東省

2 1 3 1 5 0 7

龍江省

2 0 9 3 5 0 0

三江省

1 4 1 4 6 3 3

興安南省

1 0 2 6 6 3 5

通化省

8 9 2 3 8 7

間島省

8 4 8 1 9 7

興安西省

7 6 3 7 0 1

牡丹江省

6 8 8 4 2 4

東安省

5 1 2 2 4 0

興安東省

1 9 9 5 3 0

黑河省

1 4 9 9 8 7

興安北省

1 3 2 4 2 6

2906

大東丑省現はれ
東郷外相消ゆ

昭和十七年九月三日



意気投合せ
ざんば東郷
も去る。
外務には
東條姑らく
登場
する。



茂徳の、

ねばりも失せて、秋の風。

残り惜しいが是非もない。



2907

戦亂の世界

昭和十七年九月七日

独ソ

独伊英

日支

日米



在留日本人人口一千以上の都市

2908

總人口

全支在留日本人人口
(昭和十六年十月十日現在)
昭和十七年九月二十日

五五九二六七



蒙疆	石門	7510	順德	1413	武昌	1497
	新鄉	4490	新浦	1242	九江	1405
	張家口	9768	塘沽	3674	長店	1232
	大同	7636	唐山	3208	長辛店	1226
	厚和	4300	保定	2360	榆次	1140
北支	宣化	1394	山海關	2289	滄州	1064
	臨汾	1978	中支		南支	
	芝罘	1877				
	北京	94046	彭德	1845	上海	90471
	天津	57036	四方	1829	南京	11958
	青島	30598	臺東鎮	1694	漢口	9310
	濟南	19390	豐臺	1644	杭州	2738
	太原	15013	歸德	1614	蚌埠	2546
	徐州	8441	德州	1452	蘇州	2177
	開封	7152	滄口	1438	蕪湖	1773
					廣州	13996
					厦門	9121
					感恩	3179
					汕頭	2760
					海口	1924
					崖縣	1123

2909

皇軍大西洋に出動す

昭和十七年九月二十五日



●は米軍隊
派遣地

2910

南方の物資

昭和十七年九月廿八日



チン	麻	砂糖	ゴム	鉄	錫	石油
香料	規那	棉	米	銅	金	石炭



南方資源比較表

昭和十七年九月二十八日



米	世 界 日 滿 支 南 方 國	89,000 48,438 15,970	54.4 17.9	石 油	世 界 日 滿 支 南 方 國	284,800 347 8,190	0.1 2.8
コ ム	世 界 日 滿 支 南 方 國	1,030 0 788	77.2	サ イ ヤ ン	世 界 日 滿 支 南 方 國	4,400 0 224	7.4
砂 糖	世 界 日 滿 支 南 方 國	17,430 1,174 2,408	0.7 13.8	鐵	世 界 日 滿 支 南 方 國	73,000 2,650 1,409	8.5 1.9
麻 類	世 界 日 滿 支 南 方 國	532 33 108	6.8 37.2	鉛	世 界 日 滿 支 南 方 國	1,792 16 92	11 0.9 8.1
規 那	世 界 日 滿 支 南 方 國	12 0 11	91.7	亞 鉛	世 界 日 滿 支 南 方 國	1,897 39 68	2.1 3.6
椰子油類	世 界 日 滿 支 南 方 國	850 0 287	33.8	銅	世 界 日 滿 支 南 方 國	2,081 81 99	4.0 4.9
錫	世 界 日 滿 支 南 方 國	180 18 118	7.2 65.6	クロム	世 界 日 滿 支 南 方 國	620 15 2	2.9 0.4
石 炭	世 界 日 滿 支 南 方 國	1,230,000 72,849 8,874	5.9 0.3	マンガン	世 界 日 滿 支 南 方 國	2,970 45 15	1.5 0.5

逝ける人

自六月一日
至九月三十日

昭和十七年九月三十日



武藤長藏

前田音吉 八二

伯

田中 遜 七九

保岡勝也

龍相

サイダム 六一

野村一郎

菅 忠雄 四四

遷塚麗水 七七

山本良吉 七二

竹内棲鳳 七九

扇本真吉 六八

石樽千亦 七四

長沼守敬 八六

土方久徴 七三

木下寂善 七三

高岡直吉 八三

石塚英藏 七七

岸本鹿太郎 七四

中村達太郎 八三

中川銓吉 六五

水尾寂曉 六六

佐伯悟龍 六八

朝永正三 七八

澁澤正雄 五五

中川吉造 七二

安藤 弘 七四

高村他三郎 六六

小竹 茂

中江丑吉 五四

稲垣生起 五三

松方 巖 八一

大野徳三郎 七三

脇水鉄五郎 七六

二子石管太郎 七〇

守屋貫教 六二

榎格實岳 六一

男

船越光之丞 七二

西 義一 五四

葛西萬司 八〇

菊池壽人 七九

2913

ヤンキーの座談會

昭和十七年十月二日



①「驚いたね。ジャップは世界一の勇猛な奴だ。よ。しかも軍備は完全にたんぐりしてゐると言ふのだから。」

②「實際驚いたね。ジャップは命知らずの野蛮人だ。アナ奴と戦ふ手は無いらぬ。」

③「いや、ジャップは野蛮人どころか、立派な文化人だといふから解らぬ。」

④「兎に角、ルーズがジャップを見くびり過ぎたんで、こんな事はあつたんだね。」



2914

東京空襲を狙ふ米國

(アラスカを基地として)
昭和十七年十月六日



ウルクィーと蔭介石

昭和十七年十月八日



あつ六ヶ條の注
文を引き受けて
慣はにアー重慶
は丸清丸にある
んだからね



ウルクィー

ワハ……。そんな注

文はお見ゆいことだが

ルースウルトが縦帯

(ルースベルト)で腹のし

まりが無いんだよ。

俺はルース以上り、

ウスキーの兄弟の

ウルクィーだ。ウスキー

とウシと飲まあきアウシとは

まらハあいのドーダお解か、お前ハ

貧乏を看板にしてゐるが、何

十億といふ暗くろを待て居る

じゃあいか、ケチくしを以て御馳走しろ。

2916

第二戦線準備

昭和十七年十月十四日



日

「さあ何時
でも
来い

米

「あわて
るふ。これ
から仕度

にかゝるんだ。



2917

日本空爆の米捕虜極刑に處せらる

昭和十七年十月二十日



2918

前イマノ皇帝

セント・ヘレナ島
に幽閉さる

昭和十七年十月二十三日



英

ポレオン
一世と同格
の待遇だ。
光榮に感
泣まふまで
ある。

イラン前帝
「感泣じゃ
ない。
憶泣だ。」



2919

食料問題

昭和十七年十月二十五日



饕餮食
有剩肉

「毎日こんお
ど馳走責めじや
たまらぬいや」



饑餓
無餘菜

「あしたは
おいしい
おかずが
あるよ」



坊や
「今日も
おかずが
無いの」

2920

南太平洋海戦

昭和十七年十月二十六日



惨多^{サタクル}苦^ク流^リ図^ズ
諸島北方の
海戦

敵の損害

航空母艦四隻 撃沈

戦艦一隻 同

艦型未詳一隻 同

戦艦一隻 中破

巡洋艦三隻 同

駆逐艦一隻 同

敵機二百以上撃墜

我の損害

航空母艦二隻 小破

巡洋艦一隻 同

未帰還機 四十機

以上



2922

スーリングラード陥落迫る

昭和十七年十一月三日



被彈如窠城壘破
百萬蘇兵終潰碎
勝軍果然有殘肉
敗敵覩面無遺菜

獨

前





2924

米軍佛領北阿を脅かす

昭和十七年十一月十日



米貴様の家を
貸して世貝ふ

のたいやと
ぬかせば

叩き

斬る

ぞ

佛

狼藉もの

め勘弁ふらぬ

手の内見せぬ

覚悟

しろ。



2925

ラインエリザベス撃沈せる

八万五千トン世界一の豪華船

昭和十七年十一月十四日



2926

今後五ヶ年の體位

昭和十七年十二月十九日



昭和十八年



昭和十九年



昭和二十年



昭和二十一年



昭和二十二年



2927

ソロモン海戦 自勇次 決算

昭和十七年十一月二十日



① しぶとい奴だ、あれ丈けたときにつけても、マイツタと言はふい。



敵

我方損害

敵	戦艦	空母	巡洋艦	駆逐艦	潜水艦	掃海艇	艦型不詳	計	輸送船	合計	飛行機撃墜数
沈没大破	一	四	二七	二〇	九	一	〇	六二	一七	七九	八五〇機以上
中破	一	二	五	一〇	一	一	三	二三	六	二九	自爆未歸還
計	三	二	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	五	二〇六機
沈没大破	一	八	三三	三〇	一〇	二	三	九〇	二三	一一三	
中破	一	〇	三	六	一			一一	五	一六	
計	二	一〇	一四	二九	二			一〇	二一	二七	
								三	一〇	一三	
								四	二	六	
								一八	一七	三五	

手どわい奴だ、負ける筈は、ふいんだが、と、勝てふい。



昨是今非

ロンドン
に於ける

亡命十三国政府の下宿住居

昭和十七年十一月二十三日

諸国亡命政府御宿

I ポーランド政府

シゴウスキー

II フランス政府

ド・ゴール

III 左ウコ政府

ネ・アル・ベネシ

IV オランダ政府

ワルヘルミナ女王

V ニュースピア政府

ピーター

VI ギリシア政府

ゲオルグ二世
カシタラシ在電

VII ベルギー政府

レオポルド三世

VIII ノルウェー政府

ハーコン王

IX アルバニア政府

ゾーグ王



2929

猴の威を借る豚

昭和十七年十月二十六日



米

日



狡豚猪猴
連術して猛
犬に當らん
と欲す、その
心事や憫むべ
く笑ふべし。

2930

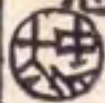
天綱恢々疏にして漏さず
世界綱渡り戦

昭和十七年十一月二十九日



天下を望む大狒の黒奴志

昭和十七年十一月三十日



我こそは世界に覇を
大狒の統領ルズケル
である。やがて欧亜
を左右の手に提げ、



濠阿を両足の下に
踏みつけて、天下の大

君主となるのじやぞよ。

沐猴にして冠するのではない。

冥界の大魔王から拜領した

破正顯邪の装束を見るがよい。

2932

末路可憫

昭和十七年十二月二日



一敗塗地
二不可起
三軍失帥
四面楚歌
五塵歎民
六慾賣國
七顛奔戎
八倒徨蠻
九天難翅
十方悉塞



2933

止めて止らぬ闇の路

昭和十七年十二月五日



白米 一升
あづき 一升
砂糖 一匁
鶏卵 一個
鶏肉 一羽
豚肉 五匁
清酒 一升
大工 一日
土工 一日

公定價

關價

六十錢	十兩
十錢	十兩
三兩	十五兩
一兩	二十兩以上
三兩五十錢	十四兩以上
四兩八十錢	三兩以上
四兩	十兩
	七兩一十兩
	八兩以上



2934

八光一源

對米英宣戰
第一周年
昭和十七年十二月八日



東光壓東海
南光覆南溟

西光鎮西陸
北光攘北斗



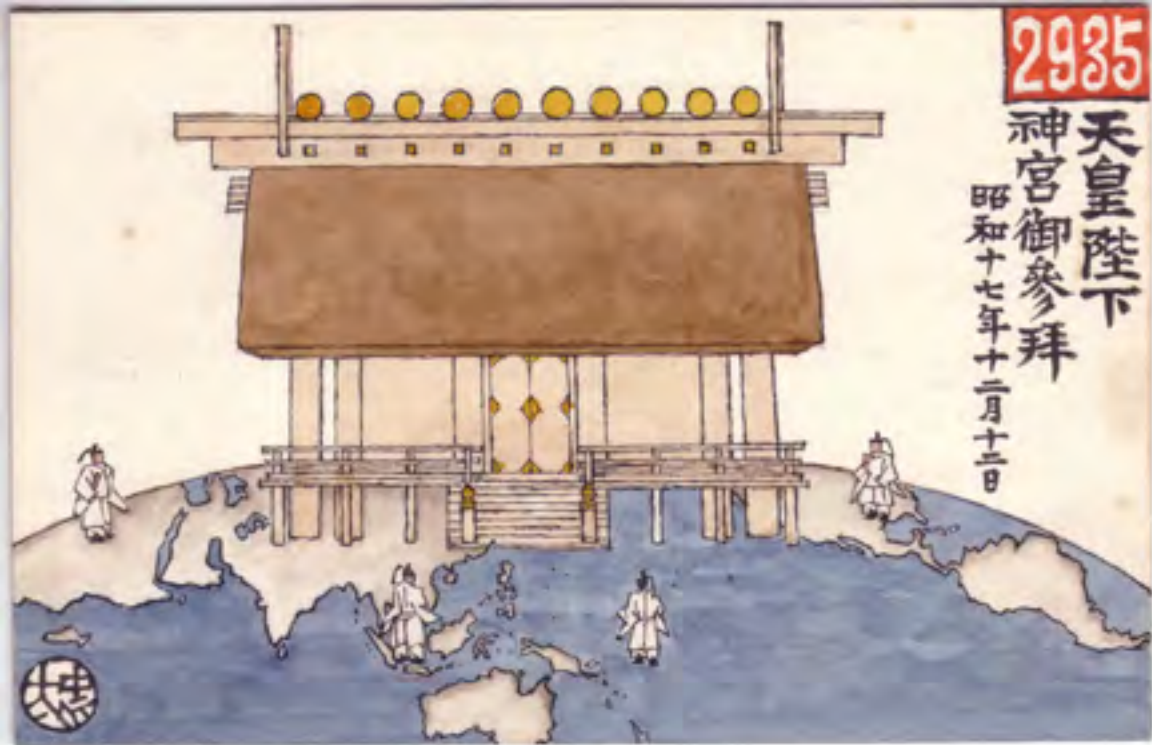
乾光乾天高
巽光巽風和

坤光坤地厚
艮光艮山靜

2935

天皇陛下
神宮御參拜

昭和十七年十二月十二日



諸神の豫言

昭和十七年十二月十五日



百

の海に

戰國策

世界

遷示
永久子

戰事は人滅亡

各國名流

世界に於てあるであらう

告

五年にシ

て敵国ハ

日本に屈

服し世界

平

合

1045

7

美云

初冬

世

說文

77

卷之四

子

卷之五

五言

五年の變
米國は

朝服

世界

海

1872

勝買“發音”

卷之四

平知



2937

佛陀に囁く魔蝎

昭和十七年十二月十七日



左翼の
赤蝎、毒
刺を巻て
去れ。
喝！



2938

舌禍の常習尾崎行雄

今十四歳執念いよく深し

昭和十七年十二月二十一日



「その方儀、
畏くも御上に
對し奉り、無礼
の難言、不届
につき、懲役八
ヶ月の處刑申し
付けらる。

但し格別の詮
議を以て二年間刑
の執行を猶豫すろ
により、難有く
心得よ。



2939

外患よりは内憂

般鐵遠からず前世界大戦の獨逸にあり

昭和十七年十二月二十一日



2940

ジンダル暗殺さる

昭和十七年十二月二十六日



逝ける人

自十月一日
至十二月三十一日
昭和十七年十二月三十一日



巖本善治八二	小峰茂之	古賀康造八五	永瀧久吉	平田勲五五	東郷吉太郎七五	花岡止郎六四	寶熙七五	清沢満五三	前田利爲	北原白秋五六	清浦奎吾九三	川村曼舟六三	ト部喜太郎五	久保良英六〇	陸奥廣吉七四	堀田義次郎六九	正力庄助七一	日野西資博七三	三善清之八九
木村武山六六	藤浪剛一六三	吉見乾海七九	松永昇道七七	木村清之助六八	藤田讓七九	杉浦鋼太郎八五	永地秀太七〇	窪田平造五三	安田祿造	早川徳次六二	時野谷常三郎六二	狩野亨吉七八	ジャン・ダルラン六三	蔣作賓六〇	宇野三郎	宇佐美勝史七四	白岩龍平	工藤祐定	赤間信義五四

2943

昭和癸未

昭和十八年元旦

癸未是洋
力拔面洋
氣蓋三洋
國運洋洋

夜を
こめて
修羅の鼓の
うつゝとも

夢とも知れず

歳は明け
ぬる

ぬる

崎嶇羊腸
羊歩艱難



2944

羊頭を掲げて苦肉の策

昭和十八年一月三日



2945

米英蔣の僭領地を騙取せんとする

昭和十八年一月六日

米英

「この朱敵内は
一切無條件で、
安神して俺等
にまかせろがよい。
屹度日本をタキキ
潰してやるから。」

此蔣
「ドレゾ
宜しく
お願い
申しマス



昭和十八年一月九日

親爺

「オレオン戦争時代には
兵士一人につき武器職工
は一人であった。

前世界大戦
の時は兵士一

人につき兵器

工は八人、今度の大戦

争みは一兵士に十八人の
兵器工を要するそうだ。

然るに、ルーズヴェルトは千三百

萬の兵を徴集するといふが、それには兵器工

が二億三千四

百萬人とある。

これは合衆国の
人口の約倍數に近い。

これは出来ぬ
相談だろう。

太郎

「ヤンキーのことだから
無理にやるかも知れない。

次郎「それはルーズヴェルトの魔法螺だろう。

三郎「千三百萬の兵隊さんか、それくらいや。



2947

國民政府米英に宣戦す

昭和十八年一月九日



國民政府
「お前達とは
キツパリ縁を切て
日本と同心一体に
あつたぞ。
汝等ウの唯一の魔窟
租界と治外法權
は没收する。」



蔣の悪文

昭和十八年一月十三日



暴民を恩の倭賊と
干戈を交ゆるの已むを得

あり我軍必しも連勝を

獲たるに非ざるも我にハ

内に守護の兵三百万

外に戦線の兵五百万

合せて八百万の貔貅あり

況んや米英の補助に由

て糧食足り兵器備

はる困憊殍死の倭賊

猖獗ありと雖既に我が

敵にあらざる然るに

何爲の者ぞ無能奸

悪の汪精衛叛旗をひ

るがへして倭奴に通じ刺

へ世界を二分してその

二と保つ強国米英

に對して妄りに戦を宣

せんとすその愚心や及

べからずその蒙や度

必しも我に利あるもの



昭和十八年一月十八日



税も物價も際限なしに

あがるのに、収入はちとゆ

あがらふい。酒や煙草

あとの暴騰には驚き

ますね。

「驚くには由らうい。

税も物價もまだ

あがるのだが△

1941年度 一人当り税金負擔額(円)	
日本	56.23
英	726.70
米	401.03
獨	608.69



△この図表を見あさい。

この日本の税額を数倍し

ても多過ぎふいよ。

2950

チリ國米の脅迫に屈す

昭和十八年二月二十二日



米

「馬鹿め、
世界の大大勢を知らふいか、」

日独の勢力の

数十倍を餘る

我我國に槍をつく
氣あらうこの劍を喰へ。

喰へ。

チリ

「長いものには捲かれざるまい。」

仕方がない、枢軸とは絶交する。

アルヘンチナ

「チリの意氣地を認め、俺は頑張り徹して見せる。」

「チリの意氣地を認め、俺は頑張り徹して見せる。」



2951

獨蘇死闘雙戰

刀折矢盡
勝負不決

昭和十八年一月二十七日



2952

先づ馬を射よ

昭和十八年二月一日



2953

東亞宮賦

宮殿廣八百八十尺
深四百八十尺
棟高二百八十尺

昭和十八年二月二日



東亞宮賦

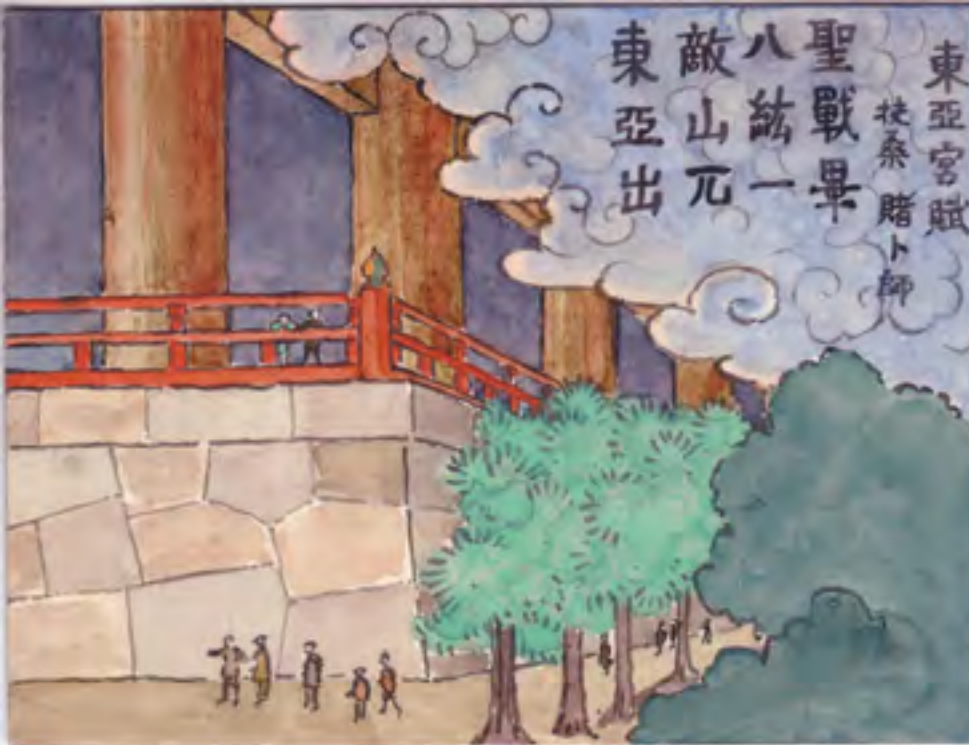
扶桑賭卜師

聖戰畢

八紘一

敵山元

東亞出



2954

東條首相獅子吼

第八十一
議會

昭和十八年二月二日



天皇陛下の
大命を

拜した

我は関白太政大臣

兼征夷大將軍である。

天下の政權は我が掌中に在る。

国民は我に信賴せよ。我は国民に信賴する。

2955

晃山元船艦出

昭和十八年二月七日

怖い杉だが
仕方がない



2956

皇軍とモン諸島の陣地を引きよぐ

昭和十八年二月十日



「汝等の様は
蛆蟲は
モ一相手に
しふい

「逃げるのか、
ザマー見ろ。」



2957

昨日は南 今日北

米賊アリヤト群島
星地を造つて
東京を窺ふ

昭和十八年二月十七日



米
一舉に
東京を
廢墟にして
やるぞ

7日
サー来い
一羽も残さず
射墜してやる。



日本近接諸国の産児数

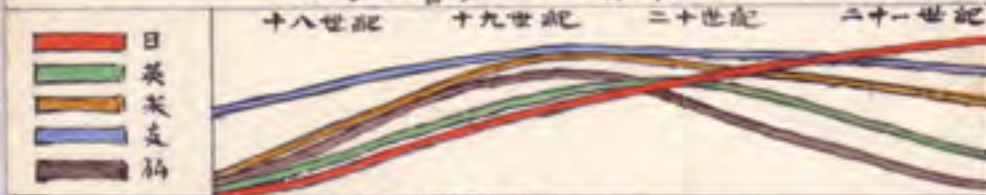
2958

産児と人口

昭和十八年二月十九日

	日本	支那	印度	ソ聯
総人口(万単位)	9764	44660	35284	17047
人口1000に 對する産児	26.7	45.0	36.0	43.3
日本一人の産児に 對する支、印、ソ の産児数				

人口増加の趨勢率



將來の人口

	日本	支那	印度	ソ聯
産児出生率	漸進	急退	急退	微進
産児死亡率	漸退	微退	微退	漸退
百年後の人口	四億?	五億?	三億八千萬?	三億?



2959

聯捲土重來獨苦戰

昭和十八年二月二十一日

聯捲落の底へ

タキ込んで

微塵に
してやる。

独

何を小癪か、
寸断して肉を喰
ふまでだ。



2960

宋美齡とルーズ

狡策と
猶避

昭和十八年二月二十一日



宋

「……といふ訳で、重慶援助が焦眉の
急です、差し当り食糧と兵器
を送つて下さい。飛行機四五
千機を即座に送つて
下さい。重

慶が潰

れれば、

アメリカも

共倒れに

ありますよ。

ルーズ

「何わかもよく

承知してゐるが、

思うやうに行き

まじんよ。マ

辛抱して頑張りあさい。
出来るだけのことはしてあげるから。

亞細亞	25660	仏印	30	チュニス(仏)	250
アラビア	450	支那本部	1000	アルゼリア(仏)	650
イエメン	600	支那辺疆	2000	モロッコ(仏)	600
アデン(英)	40	滿洲国	300	モロッコ(西)	70
オマーン(半英)	60	ソ聯領	6000	スーダン(英)	450
トランスヨルダン(半英)	50	蘭領東印度	6000	ソマリア(伊)	470
パレスタイン(英)	90	歐羅巴	300	ソマリランド(仏)	30
シリア(仏)	250	ギリシア	10	東アフリカ(英)	100
トルコ	2000	ブルガリア	30	ケニア・ウガンダ(英)	100
イラク	309	ルーマニア	20	マダガスカル(仏)	70
イラン	1500	ユーゴスラヴィア	150	西アフリカ(仏)	640
アフガニスタン	1000	アルバニア	90	ニジェリア(英)	770
印度	7700	アフリカ	5850	ソマリランド(英)	40
馬來	250	エジプト	1500	其他	130
タイ	40	リビア(トリポリ キレナイカ)	60	總計	31940

2961

昭和十八年三月二十三日
回教徒人口(萬単位)



ガンジー絶食満願

昭和十八年二月二十八日



印度は印度教を以て興り、
 印度教を以て亡ぶ。
 ガンジーは印度教に生れ、
 印度教に死す。
 ガンジーの断食は印度教常規の苦行、
 印度の興廃に没交渉あり。



文天祥絶食七日不死復食、次被殺、
 是漢土儒道兩教之義、
 ガンジー絶食廿二日復生、
 是天竺婆羅門之教義、



2963

銅像回收

昭和十八年三月九日



2964

東條首相の早業

昭和十八年三月十五日



十日出発
南京を訪
ふて十五
日帰還す

東條



汪

つんば同志

恐税症と
恐病症と

昭和十八年三月十六日



甲「ゼーゼー(税々)
で苦しいのだ」

乙「カゼ(風邪)
か？」

甲「カゼー(課税)
が重いんだ」

乙「それには良い
ヤクザイ
(薬劑)が…」

甲「そのシヤクザイ
(借財)もある
んでね…」

(甲)

(乙)



2968

米・英・四國憲章
 ソ・蔣
 昭和十八年三月十八日



四國
 お互に
 手を
 放す
 ぞ
 まい



2967

バーモ長官來朝

昭和十八年三月二十三日



東條

「緬甸を独立

させてやるが、

その

衣物

は替へた

方がよからう。

バーモ

「有り難ふ

存じます。併しこの衣物は

チョンクラ替へることは出来

まシネーダヨ。



2968

餓殍街に満つ

昭和十八年三月二十五日



香港
餓殍毎
日平均
百人餘

廣東
餓殍毎
日平均
五十餘
人



三ヶツの穴臭

三傑の結集
にあらず

昭和十八年三月二十七日



③ 世界の馬鹿者共
をこの赤い尻の下
に敷
て見
せる



② 「熊の膽よりも
熊のケツの穴に
特效のあるのを
知らぬいから
可笑しい



① 俺には最期尻
といふ臭の手の
武器がある



2970

高利貸

昭和十八年三月三十一日



ルーズ
奴等が借金を返へせあいことは當然だ。
借金の代償として、思ふ存分奴等から利権、
土地をせしめてやる。



述

ける人

自一月一日
至三月三十一日

昭和十八年三月三十一日



藪内 紹智 七

倉田 百三 五三

小早川 長次郎

田 百三 五三

吉田 賢龍 三

平尾 賛平 七〇

平岡 權八郎 六二

平賀 讓 六六

市川 左升 七三

頭本 元貞 八二

永安 百治 七

金丸 清興 七三

清水 龍山 七

野口 保興 八四

若尾 璋八 七二

中村 謙一 六二

田中 浪江

遠藤 於克 七九

藤堂 高紹

平賀 義美 八七

馬杉 亮 五七

武藤 舜應 六八

藤井 善助 七

吉植 庄一郎 七九

田淵 豊吉 六三

伊達 宗定 七四

松井 庫之助 七八

金田 季虎 六六

柴田 顕秀

増田 侃

大原 孫三郎 六四

福山 界珠 六三

粟谷 七郎 七九

松山 陽太郎 七一

川崎 俊一 四六

中川 壯助 七一

阿本 武三 六二

藤島 武二 七七

淺見 敬一 六

森島 庫太 七六

河瀬 文雄 七九

森下 篤博 七五

大田 軍治 六

久我 篤五 八一

岩村 成充 七〇

桑原 芳樹

兒玉 卓樵 八〇

深井 鑑一郎 七九

村上 邦走 五八

織田 昇次郎 八九

小野 賢一郎 五六

河津 暹 六九

林 鐵十郎 六八

竹山 順平 七二

直木 倫太郎 六六

伯

子

男

男

ジヨンビヤボキ、モルガン

2972

遊散大敵

昭和十八年四月

三日(大衆日)
四日(日曜)

(内)

卯月といふに
花も咲かず
木の芽も出ず、
孤影悄然家を
守る。亦た戦時
の二景か。留守大敵



(外)

遊散、買出し、
スキー等々の
旅客、平素
の五六倍。汽
車は動かず、
人は瀕死の
苦痛。戦時
の二景として
奇が醜か。
遊散大敵。



2973

フロリダ島沖海戦

昭和十八年四月七日



2974

東京市の變遷

昭和十八年四月十日



明治初年人口八十萬

素晴しい大都會だふあ

明治末年人口百十萬

世界大都市の

仲間にはいつたぞ

大正末年

人口二百餘萬

倫敦・紐約に

追いつきたい

ものだ

昭和十八年

人口約七百

五十萬

こう殖へては

やり切れぬい



2975

彼厚此薄

昭和十八年四月十五日



年俸七萬円の
〇〇營團長
饗宴費一人
當り百円也

酒海肉山

年俸二千五百円の

〇〇省課長

饗宴費一人當り

金五円也

假酒偽肉



2976

内閣大改造

昭和十八年四月二十日

谷湯沢、橋田、井野、辞任す



2977

文化勲章(第三回)

昭和十八年四月二十九日



文 化 勲 章 受 拜 者

東京帝国大学名誉教授(王)伊東 忠太

同上 花 鈴 木 梅 太 郎

同上 藤 朝 比 奈 素 彦

京都帝国大学教授 湯 川 秀 樹

田 英 作

三 宅 雄 次 郎

徳 富 猪 一 郎

惟るに幕末文化爛れ、文政とあり、文政窮つて天保に極まる。天保去て弘化来るも、嘉永遂に永からず。安政に危政あり、萬延に萬死あり。文久久しからず、元治治を失ふ。慶應幕府倒れて慶兆現はれ、明治に至て明治政治續復現す。

大正に至て文化漸く衰れ、流行の漲る所一事一物文化の二字を冠せしむるは已まざるの風潮を來し、文化の權威は將に地に墜ちんとするに當り、

勅して文化勲章を臣等に賜ふ、

八紘普く昭に、億民均しく和すべき也。

2978

米國炭礦爭議

昭和十八年五月三日



ルーズ
「静かに
しろ。
国家安危の
岐る場合だ。
国家の
ために
働らい
て貰はにやあらん。
増給は適當に
考慮する。」



労働者

「何だど?」

国家々々

と日本の

受け賣り

が何だ。

その手は

乗らあいよ。



山晃の夏初

2979

男跡と

女峯の中の

ふた真志子

太郎は

ひとり

戦場ヶ原

男跡山

昭和十八年五月十日

大真志子山

小真志子山

女峯山

赤冠山



2980

荒波や三年の地中海



北阿の戦況
獨伊戦闘停止
昭和十八年五月十四日



2981

米軍熱田島を襲ふ

昭和十八年五月十四日



2982

山本五十六司令長官戰死

昭和十八年五月二十日

(四月〇日)
六月五日國葬



2983

アツツ島の守備隊全滅

昭和十八年五月三十日
隊長 山崎保代 大佐



皇軍二千五百
敵軍二萬五千
衆寡不敵
刀折矢盡
全軍殉國





2984

手足孰れが優る

昭和十八年五月三十一日



2985

手は二つ、口は一つを如何にせむ、

昭和十八年六月五日



「早く原稿を
書いて下さい、

「まだ市柳庵
は出来ませ
んか、

「あの
事で
是非
市寄附を
願ひ度い、

「あの
設計
はど
うふ
うふ
うふと
うふと
うふと

「明日の會
には是非
御出席
下さい、

「来週是非共
講演を願
ひます、

「時間斗りお話しを
して下さい、速記を取り
まわらう、



2986

一黙如雷か
萬雷如黙か

昭和十八年六月八日



『ヒツ虎先生！』
近頃サッパリ沈黙ですわ、
「一黙如雷」
ですか？

ヒツ虎

『その通りで
あるが、』

萬雷

如黙

でもある。

分つたか？



2987

邪徒一掃を要す

昭和十八年六月十二日



2988

天・地・人

(亡父祐順の命日)

昭和十八年六月十六日



天は天に順ふ者を祐け

天に背く者を憐む

地は地に應ずる者を輔け

地に逆らう者を戒しむ

人は人に和する者を助け

人を呪ふ者を惡む



2989

第百二十二臨時議會

昭和十八年六月十九日



ブルマ
「日本万歳」
フリピン

印度

「おれにも早く
独立させて
呉れあいかナリ」



2990

ルーズ山まさる

罷業彈壓法案
上下院可決

昭和十八年六月二十七日



下院「労働者に味方すると見せかけて
うまい汁を吸はう」としても
その手は食いの
ぬぞ。



上院
大統領の拒否権あんな、尤潰し
にしてやる。

2991

闇の世の中、世の闇の中、
さぐり當てたや天の岩戸を



昭和十八年六月二十九日



2992

地方行政の戦時改編

昭和十八年六月二十九日



地方組織長知事			
北海道	坂井千秋	東北	内田信也
関東	大達茂雄	北陸	前田多門
東海	吉野信次	近畿	河原田敬吉
中国	横山勲成	四国	相川勝六
九州	吉田茂		

九地方分割表——主府廳

北海道 北海廳
 東北地方 青森省、宮城、秋田、山形、福島、
 関東地方 栃木、群馬、茨城、千葉、東京、埼玉、
 北陸地方 新潟、長野、富山、石川、福井、
 東海地方 静岡、愛知、三重、岐阜、
 近畿地方 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、
 中国地方 鳥取、島根、岡山、広島、山口、
 四国地方 香川、德島、愛媛、高知、
 九州地方 福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、



逝ける人

自四月一日
至六月三十日

昭和十八年六月三十日

アレキサンドル・エリクソン
ミルラン

清元延壽大丈八二

浜野堅海六

西村 貞次六

長橋政太郎九

山崎 保代

岡田藤十郎九

堀三之助六

平山清次七

中村 不折六

国枝史郎五

相馬 哲平六

松本隆治六

松井 和宗六

前田直造六

松田 一道六

伊藤 爲吉八

佐藤 三吉八

大塚 要五

中村 正祐七

ミネロギウチ
ダンチエンコ

長 俊一六

北田内藏司六

速水 滉六

雲井春海六

那須弓雄

立 作太郎七

古宮 正次郎

湯浅凡平七

阿部 平輔

元帥山本五十六

菊池 慎三

2994

東京都出現

昭和十八年七月一日

初代都長官
大達茂雄



旧市一變為新都
人口八百八十萬
休誇贅肉徒肥滿
應努粉骨圖民福



2995

ソロモン群島争奪戦

敵軍ソンドバ島に上陸す

昭和十八年七月三日



稜威川

妖鬼山



2996

重慶宛然米の植民地

昭和十八年七月五日



米の受漢

蔣がシキりに

泣きつくから俺等が

あとを引きさうけるのだ。

何でも米国式にやるから、

俺等のいふ通りにする

んだよ。

重慶の土民

蔣が金を搾る

のでみんな困つてあま

した。これから金を

搾らあい様はーて

下されば、何でも

お差図に従ひ

ます。



2997

印度獨立の聲

五天竺
協力難

昭和十八年七月七日



2998

泰國五地方を獲得す

昭和十八年七月七日



2999

シチリアの血戦

昭和十八年七月十五日

枢軸軍



敵軍



日本人	1931000 — 2756000
南洋土人	2688000 — 3323000
白人	1636000 — 2137000

汗線の数

3000

南洋ボケ

恐るゝに
足らず

昭和十八年七月十七日



五千年前の面相

現時の面相



印度アールヤ人(印度)



インド・シナ人(緬甸・泰・安南)



日本人(日本)